令和７年度（２０２５年度）

大社の教育

誇り高き大社の子どもを育てる

令和７年度（2025年度）　学校経営方針

西宮市立大社小学校
校 長　會澤　寿之

１　学校教育目標　　『誇り高き大社の子供を育てる』

《時》を守り　《場》を清め　《礼》を正す

２　基本方針

○　本校の歴史と伝統、立地条件を有効に活用し、「特色ある学校」づくりのさらなる推進に努める。
○　豊かな関わり合い（人との関わり合い、文化―社会・自然―との関わり合い、自分との関わり合い）により、一人一人の児童が持つ志を開花させる創造的な教育活動を推進する。
○　職員が力を合わせて組織的な校務の遂行を図り、教育環境を整えるとともに、自己点検・評価に基づくＰＤＣＡのプロセスマネジメントを機能させる。
○　地域の教育力を活かし、生きる力の育成を図る教育課程の編成をし、「つながり」を活かした教育の推進に取り組む。

３　めざす子供像

○ 豊かな関わり合いのできる子

誇りある子供には自尊感情が溢れている。人と人との豊かな関わり合いの中で、自分はかけがえのない存在であることを知り、自尊感情が育まれる。集団の中で様々な豊かな関わり合いの場をできるだけ多く持つことで、子供たちに自尊感情を育み、誇り高い大社の子供の育成をめざす。

４　めざす学校像　「楽しく安心で明日も通いたくなる学校」

○ 一人の子供を多くの職員の目で見つめる学校
○ 楽しくわかる授業、個に応じた授業が展開される学校
○ 笑顔であいさつが交わされ、子供たちが生き生きと活動する学校
○ 子供たちの居場所がある安心して生活できる学校
○ 家庭・地域社会・異校種と連携する学校

５　めざす教師像

○ 最大の教育環境は教師自身であることを自覚し、子供たちに「確かな学力」を身に付けさせるために授業力向上に励む教師
○ 一人一人の子供を大切にし、「豊かな人間性」を育む愛情に満ちたかかわりのできる教師
○ 「確かな学力」「豊かな人間性」を育むために地域や保護者と積極的に連携を図り、協働する教師

6　学校経営の具現

○「時を守り」　時間を守ること　～相手を尊重する　節度を守る

「場を清め」　掃除をすること
～気づく人になる、心を磨く、謙虚になる、
感謝の心を育む、感謝の心が芽生える

「礼を正す」　挨拶をすること、返事をすること
～認め合い尊重しあう

・創意ある教育課程の編成
・コミュニティスクールの推進（地域との協働　信頼される学校　尊敬される職員）
・職員の協働体制（専門性を発揮　誇り高き大社の子供を育てる誇り高き職員）
・業務改善（会議時間の短縮　定時退勤日、ノー会議デーの実施）

○「個」を育てる学校を目指し、参画と協働の理念で、総がかりの教育を推進する。

1「子供を取り巻く社会をみる」　時代の流れ、地域の状況、子供が育った家庭
2「子供の育ちをみる」　「確かな学力」の育ち「豊かな人間性」の育ち
「心身」の育ち
3「子供を育てる仕組みをみる」　校内でつながるしくみ（報告・連絡・相談）
地域でつながるしくみ
校種間でつながるしくみ

１．令和7年度（2025年度）大社小学校の教育目標

（1）学校の教育目標

「誇り高き大社の子どもを育てる～【時】を守り 【場】を清め 【礼】を正す～」

（2）めざす子ども像

「豊かな関わり合いのできる子」

2．各学年の教育目標

（1）各学年の教育目標

1 年	なかよくがんばる 1 年生
2 年	元気いっぱい力をあわせる2年生
3 年	友だちとはげまし合いたすけ合う 3 年生
4 年	相手の気持ちを考えて行動する 4 年生
5 年	高学年としての自覚を持ち進んで関わり合う 5 年生
6 年	誇りと責任を持って豊かに関わり合う 6 年生
ひまわり	みんななかよくたのしいひまわり

※各学年の教育目標は学年フロアに掲示する。

※変更した場合は掲示を貼り替える。

（2）各学年の人権教育目標

1年	自分の願いをはっきり伝える。
2年	みんなが自分の願いをもっていることが分かる。
3年	一人一人の願いが分かり、助け合う。
4年	身の回りの不正や不合理をみんなで解決しようとする。
5年	差別の現実を知り、解決しようとする意欲を育てる。
6年	差別を歴史的・科学的にとらえ、解決に向けて努力する実践力を育てる。
ひまわり	自分や周りの人を大切にできる。

※人権教育担当者が集約する。

3．実践目標

①　研究推進	
②　人権教育	
③　道徳	
④　特別支援教育	
⑤　生活指導	
⑥　特別活動	
⑦　体育	
⑧　外国語活動	
⑨　食育	
⑩　保健	
⑪　防災教育	
⑫　総合的な学習の時間	
⑬　環境教育	
⑭　情報教育	
⑮　キャリア教育	

※各担当者で4月中に決定する。

4．教育課程編成の基本方針

① 授業時数を確実にカウントし、年間授業時数が確保されるようにする。
② 年間学習計画を見直す。
③ 基礎的な学力の定着のために実施している「はげみ学習」の内容を精査する。
④ 学校行事については、各教科との関連を十分に図る。
⑤ 『豊かなかかわり合いのできる子』を目指すべく、各教科・特別活動・総合的な学習の時間との関連付けを明確にする。
⑥ 学年・学団・専科が相互の協働体制を円滑に進めることができるように、年間を見通した週行事、月中行事、年間行事計画を立てる。
⑦ 授業の1単位時間（1 コマ）を 45 分とする。
⑧ 授業週数は 35 週（1 年生は 34 週）以上にわたって行うように計画する。（本年度実授業週 40 週）
⑨ 朝の帯タイム（はげみの時間）を 15 分間設定し、5日間（月～金）で約1.5 コマとする。「いじめアンケート」・「人権朝会」は道徳ではなく、特別活動としてカウントする。
⑩ A・B週を作り、各教科の時数確保を目指す。
⑪ 来年度の時数確保のための年間計画案を年度内にまとめ、来年度の教育課程編成に反映させる。
⑫ 可能な限り、水・木曜日に研究会、職員会議を持つようにする。
⑬ 可能な限り、水曜日に定時退勤日を設ける。
⑭ 可能な範囲で木曜日に放課後学習を設ける。
⑮ クラブ活動は、月曜6校時の29コマ目に設定する。
⑯ クラブ活動は、45分で設定する。

5. 校時表

	通常校時		特別校時 A （午前授業） 給食〇／はげみ〇		特別校時 B （午前授業） 給食×／はげみ×	
朝休み	8:00～	8:30	8:00～	8:30	8:00～	8:30
朝の会	8:30～	8:40	8:30～	8:40	8:30～	8:40
はげみ（モジュール）	8:40～	8:55	8:40～	8:55		
1 校時	8:55～	9:40	8:55～	9:40	8:40～	9:25
2 校時	9:45～	10:30	9:45～	10:30	9:30～	10:15
業間休み	10:30～	10:50	10:30～	10:50	10:15～	10:25
3 校時	10:50～	11:35	10:50～	11:35	10:25～	11:10
4 校時	11:40～	12:25	11:40～	12:25	11:15～	12:00
給食	12:25～	13:05	12:25～	13:05		
昼休み	13:05～	13:30	13:05～	13:15		
清掃	13:30～	13:45	13:15～	13:30		
5 校時	13:50～	14:35				
6 校時	14:40～	15:25				
終わりの会	15:25～	15:40	13:30～	13:45	12:00～	12:10
クラブ活動	14:45～	15:30				
下校	5校時：14:50 6校時：15:40		13:45		12:10	
完全下校	4月～10月：17:00 11月～3月：16:30					

① 校時表は、チャイムの担当者が全学級、及び専科の特別教室分を印刷し、始業式までに配布する。（1・2年生はひらがなの校時表を使用する。）※データは 30 教育課程

② 通常校時の他、学校行事などに合わせて特別校時A（教育相談ウィーク、個人懇談）、特別校時B（儀式的行事）を設定する。

③ 定刻に活動を開始するために、朝の会及び授業の始めと終わりにチャイム、清掃の終わりに音楽を鳴らす。

④ チャイム着席で落ち着いて学習が始められるように、朝の会・3校時の5分前から予鈴（音楽）を流す。

⑤ 1・2校時、3・4校時、5・6校時の間に 5 分間の休憩時間を取り、学習の準備・移動がスムーズにできるようにする。専科の授業は可能な限り担任が引率する。

⑥ 進んで運動に取り組んだり、友だちとの関わりを深めたりするため、20分間の業間休み、25分間の昼休みを設定する。

⑦ 毎週火曜日は、清掃なしで、13:05～13:50 を昼休みとする。（ロング昼休み）

⑧ 健康観察や諸連絡、一日のふりかえりや明日の連絡をするために「朝の会」「終わりの会」を設定する。

⑨ クラブ活動の際、ランドセル等、荷物は教室に置いておく。ただし、教室をクラブで使用する場合は、廊下などに固めて置く。更衣は昼休みに済ませておき、移動も速やかに行う。

⑩ A 週火曜日は3年生が6校時のため、A 週火曜日を月曜校時とする場合、クラブは設定しない。

⑪ 完全下校時刻は、生活指導担当者が提案する。

6. 各教科、道徳、特別活動などの年間授業時数配当表（標準時数）

（1）各教科の標準時数

	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	体育	道徳	外国語活動	総合的な学習の時間	特活	小計
1年	306		136		102	68	68		102	34			34	850
2年	315		175		105	70	70		105	35			35	910
3年	245	70	175	90		60	60		105	35	35	70	35	980
4年	245	90	175	105		60	60		105	35	35	70	35	1015
5年	175	100	175	105		50	50	60	90	35	70	70	35	1015
6年	175	105	175	105		50	50	55	90	35	70	70	35	1015

※一単位時間は45分とする。

（2）週授業時数配当

	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	体育	道徳	外国語	総合	特活	小計
1年	9		4		3	2	2		3	1			1	25
2年	8		5		3	2	2		3	1			1	25
3年	6.5	2	5	2.6		1.7	1.7		3	1	1	2	1	27.5
4年	6.5	2.6	5	3		1.7	1.7		3	1	1	2	1	28.5
5年	4.5	3	5	3		1.4	1.4	1.7	2.6	1	2	2	1	28.5
6年	4.5	3	5	3		1.4	1.4	1.6	2.6	1	2	2	1	28.5

※3～6年の国語のうち、1時間をモジュール学習とする。

※モジュール学習を「はげみ」と呼び、1・2年生は連絡等の時間に当てる（授業時数にカウントしない）。